



# 政令市初！ ドラゴン出動！

## ～静岡市消防局に新車両配備～

### 1 概要

東日本大震災での教訓から、石油コンビナート・化学プラント等のエネルギー・産業基盤の被災に備え、緊急消防援助隊に新たに特殊災害の対応に特化した部隊である「ドラゴンハイパー・コマンドユニット（エネルギー・産業基盤災害即応部隊）」が創設され、平成30年度末までに、全国12地域に編成される予定です。

この部隊の中核車両となる「大型放水砲搭載ホース延長車」及び「大容量送水ポンプ車」（2台併せて「エネルギー・産業基盤災害対応型消防水利システム」といいます。）が、平成28年3月中に国から静岡市消防局に無償貸与されました。

### 2 配備車両について

#### (1) 大型放水砲車（大型放水砲搭載ホース延長車）

全長8.34m、全幅2.49m。大口径の150mmホース（1本あたりの最長50m）を1,000m延長可能な分を搭載しており、走行しながら車両後方へのホース延長が可能であるとともに、車両上部の大型放水砲と車載の大型消防ポンプ（A-1級）を活用することで、最大毎分8,000ℓ（1分間にドラム缶40本分）、最長100mの大容量かつ遠方への放水が可能です。



大型放水砲搭載ホース延長車（写真提供：市原市消防局） 大型放水砲による放水（写真提供：四日市市消防本部）

#### (2) 大容量送水車（大容量送水ポンプ車）

全長8.96m、全幅2.49m。海や河川等のあらゆる水利から取水が行える水中ポンプを搭載しており、さらに車載の大型消防ポンプで加圧することで、最大毎分8000ℓ、約1,000mの送水が可能です。

この車両は、東日本大震災において福島第一原子力発電所火災での放水活動に投入されています。



大容量送水ポンプ車（写真提供：市原市消防局）



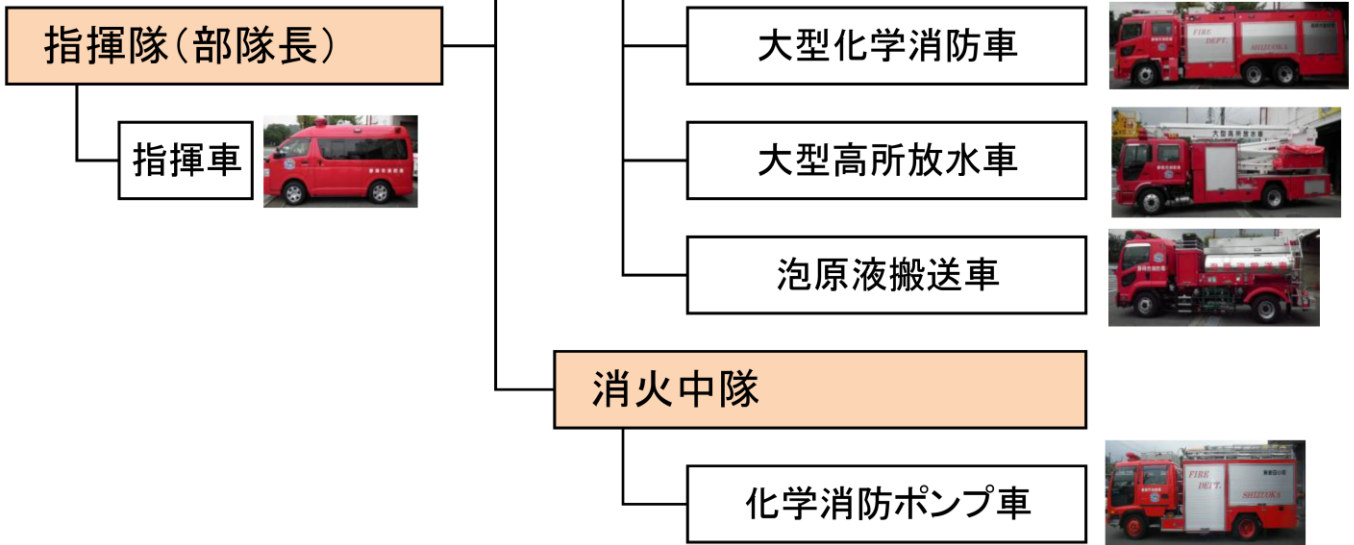
車載の水中ポンプ（写真提供：四日市市消防本部）

### 3 部隊について

#### (1) 部隊の編成

緊急消防援助隊としての登録については、エネルギー・産業基盤災害即応部隊指揮隊、大型放水砲搭載ホース延長車、大容量送水ポンプ車、大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車、化学消防ポンプ車等を中心として編成します。

## ドラゴンハイパー・コマンドユニットの部隊編成



※表中黄色が新規車両。その他既存車両で構成。

#### (2) 名前の由来

江戸時代から明治時代にかけて用いられた消火用具である竜吐水（りゅうどすい）に由来しています。



#### (3) シンボルマーク

竜吐水に因み、「竜」をモチーフにした全国統一・シンボルマークを作成し、車両や防火服等に貼付します。



#### 【参考】ドラゴンハイパー・コマンドユニット中核車両の配備状況

平成 26 年度 市原市消防本部（千葉県）、四日市市消防本部（三重県）  
平成 27 年度 静岡市消防局（静岡県）、神戸市消防局（兵庫県）  
平成 28 年度 倉敷市消防局（岡山県）、鹿児島市消防局（鹿児島県）  
平成 29 年度 苫小牧市消防本部（北海道）、横浜市消防局（神奈川県）  
平成 30 年度末までに配備予定 新潟県、愛知県、大阪府、福岡県

担当 財産管理課（装備係）  
電話 054-280-0161